



宇津貫みどりの会

宇津貫みどりの会 第95号

宇津貫みどりの会
連絡先 城所幸子
TEL/FAX 042-636-2466



色づいていた山の木々は落ち葉を積もらせ、冬枯れの景色へと移り変わってきました。

去る11月2日、3日、恒例の由井市民センターみなみ野分館祭りが催されました。宇津貫みどりの会は、分館創設以来、ふるさと資料室の運営にも関わり、近年はみどりの会としてのブースを設け、展示を行っています。絵地図『宇津貫・片倉むかし道』、『谷戸のくらし』は欠かせない展示物ですが、今回は、その他に四季折々の宇津貫緑地の植物の写真、開発工事の頃の町の様子アルバム、活動紹介のパネルなどを掲示し、充実したものとなりました。アルバムには、宇津貫からみなみ野へと町の変貌がすさまじいものであったことが分かる写真が多くありました。植物の写真も好評でした。ご来場いただいた方々とお話する中で多くの方々がこの地域のことに興味を持たれていると感じました。私どもが冊子の出版やこのような催しに参加し、次世代に伝えていく必要性を改めて感じた今回の催しでした。

宇津貫緑地での山の手入れが主な活動ですが、それ以外にも地域の方々と触れ合う「ヤマツツジ鑑賞会」「ホテル観察」「歴史とみどりの散策」の継続と新たな催し物も検討していきたいと思っております。

宇津貫みどりの会
城所 幸子

会員募集中！

宇津貫みどりの会に参加して、里山の保全に汗を流してみませんか。月3、4回山の手入れを行っています。自然観察や健康増進に如何ですか。とても楽しい会ですよ!!

当会のホームページを、次に移転しました。

<http://utsunukimidori.ie-yasu.com/>

又は、QRコード



第三回「歴史とみどりの散策」



毎年恒例となっている「歴史とみどりの散策」は3回目を迎えました。第1回から第2回は「宇津貫緑地」でこの頃の緑や花を楽しむ散策を中心に実施してきましたが、第3回目の今年は、みなみ野の「昔の面影が残るむかし道を訪ねて」をテーマに、むかし道を訪ねながら今と昔の違いや「よさ」を感じ取っていただき、楽しい一日を過ごそうということで実施させていただきました。

さて、第三回の歴史とみどりの散策は10月26日(土)9時にJR横浜線みなみ野駅改札口に集合し、一般参加者5名、みどりの会会員13名の計18名の参加で実施しました。この日はとても秋らしいおだやかな天気恵まれ、散策には絶好の日でした。

散策のスタートにあたり、冒頭、城所会長からの挨拶と今回の内容についてのお話があり、引き続き、今回のむかし道の案内人である水越さんからもご挨拶がありました。散策のコースは、①みなみ野駅のすぐ東側にある荒田橋(下谷戸)、②むかし宇津貫の中心となる生活道路が通っていた、みなみ野駅東口線路沿い(下谷戸)、③むかしの面影を色濃く今に残している毘沙門天付近(菖蒲谷戸)、④むかしと今とほとんど変わらない熊野神社参道(中村谷戸)、⑤宇津貫町当時の面影を残しているJR横浜線の中村ガード(中村谷戸)、⑥宇津貫公園入り口辺りから法華寺にかけてのS字状の区間にむかしの面影を残している法華寺付近どうね道(閑道谷戸)、その後昼食を宇津貫公園でとり、昼食後、⑥みなみ野の開発によって七国閑道東尾根緑地の南側につくられた道がむかし道に沿っている七国閑道谷戸西尾根緑地(閑道谷戸)、⑦むかしの集落の道に沿ってつくられている君田小学校南側(君田谷戸)、⑧一部むかし道の面影をのこしている君田尾根緑地(君田谷戸)、そして⑨菖蒲谷戸の集落の中に1本の里道があった菖蒲谷戸公園東側(菖蒲谷戸)を訪ねました。予想外に散策が順調にすすみ、時間的にまだ余裕があったため、希望者だけで子安宮、毘沙門天も直接訪ね、13時に終了しました。

①下谷戸(荒田橋)

最初に訪れたのは下谷戸の荒田橋です。ここは谷戸の中で一番低いところで道も曲がりくねっており、6つの集落が開発により全て埋まったそうです。また、6~7本あった小川は、今は兵衛川になったとのこと。ここは、片倉方面から七国峠方面にいく古道でしたが、ほとんどその面影は残っていませんでした。

②下谷戸(JR横浜線みなみ野駅東口線路沿い)

ここはみなみ野3丁目にあたる場所です。昔もほぼ同じところを、宇津貫の中心となる生活道路が通っていて兵衛下平公園の南側あたりで踏切を渡り、今のみなみ野2丁目側に行くことができたところ。今は住宅や公園になっていますが、昔は畑や水田がひろがっていました。

③菖蒲谷戸(毘沙門天付近)

毘沙門天の道はかつては、毘沙門踏切で横浜線を渡り、国道16号線に繋がる宇津貫の主な生活道路でしたが、今は開発により、踏切はありませんが、道は昔の面影を色濃く残しています。この毘沙門天神社には市の天然記念物指定の「スタジイ」の巨木がそびえ立っています。

④中村谷戸(熊野神社参道)

熊野神社と参道の位置はほとんど昔と変わっていません。この神社には国内で10数本しかない「ラッパイチョウ」の木があります。更には各谷戸の地蔵がいくつも祀られていることでも有名な神社です。

⑤中村谷戸(JR横浜線中村ガード)

この周辺の道は宇津貫町当時の面影を強くのこしているところ。ここから熊野神社への道につながっていました。中村ガードは明治41年に横浜鉄道が敷かれた時にできま



したが、みなみ野の開発に伴い複線が行われた結果、東側は石垣、西側はコンクリートでできています。また、ここは唯一の商店「せいみせ」があったところでもあります。



⑥閑道谷戸(法華寺付近どうね道)

七国峠道から現在のみなみ野5丁目のウェルシア店付近で南に分岐し、君田谷戸、中村谷戸、和田谷戸を通り、現在の御殿峠(杉山峠)に抜けるむかし道がありました。法華寺付近の道を「どうね」(堂に行く道)と君田谷戸では呼んでいました。宇津貫公園入り口から法華寺にかけてのS字状の区間

⑦閑道谷戸(七国閑道谷戸西尾根緑地)

ここは今の七国1丁目、2丁目になり、むかし、谷戸の中心を片倉から七国峠に至る生活道路が通っていた所でもあります。谷戸のほぼ中頃に古い石仏が立っているところで道は枝分かれし、相原方面に抜けました。

⑧君田谷戸(君田小学校南側)

ここは現在のみなみ野4丁目、君田小学校と宇津貫公園の間は昔、君田谷戸と呼ばれていた所です。



⑨君田谷戸(君田尾根緑地)

ここ君田谷戸は現在のみなみ野4丁目辺りになります。ここにある昔道は隣町の小比企町から七国峠を経て、宇津貫町の中央に通じていました。今は開発によって山は削られ、谷

⑩菖蒲谷戸(菖蒲谷戸公園東側)

毘沙門天神社の南側に、菖蒲谷戸と呼ばれる集落があったところで、今のみなみ野3丁目の東側にあたります。ここには集落の中心を通る1本の里道があり、小比企町方面に抜けていました。この辺りも埋め立て等によりその面影は薄れてきています。

⑪その他

番外編として子安宮も訪ねました。

第三回の「歴史とみどりの散策」は参加者にとってどうだったでしょうか。今回一般参加者が少なく、とても残念でしたが、会員相互の親睦は大いに図れたと思います。むかし道を語り繋いでいく人の育成の必要性も感じながら楽しい一日を終えることができた幸せな1日でした。

石川政雄



[1992年のみなみ野の様子]

これ迄の主な活動 9月～12月



10月14日
関東の各地に大きな被害を及ぼした台風第19号は、宇津貫緑地にも影響がありました。調整池から越水し、腐葉土の囲いが壊れました。



10月26日
「歴史とみどりの散策」を実施しました。みなみ野シティの原点の一端を紹介する街中散策です。詳しくは本文を。



10月28日
尾根道に育ったコナラの実生苗を、横浜線脇の草地に移植しました。いつか、ここがコナラの雑木林になることを願っています。



11月2日
由井市民センターみなみ野分館祭りに参加しました。われわれの活動を、広く市民の方々に知っていただくための重要な広報活動のひとです。

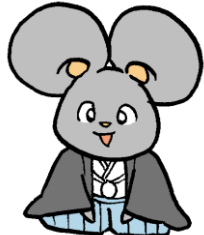


12月1日
八王子市市民活動センター主催のActive市民塾イベント「紅葉の里山散策・宇津貫緑地を歩く」に協力しました。皆さん、日ごろ入れない緑地の自然を堪能されました。



11月23日
新しく賛助会員になってくださった(株)明治の社員の方々と一緒に、初めての緑地の保全活動を行いました。23人が参加されました。生憎の小雨の一日だったため、下草刈りなどの作業を行うことはできませんでした。それでも小雨の中を傘をさして散策をするなどして、里山の風情を楽しむことができました。

今後の主な予定

<p>【1月】 6日 仕事始め／山の神詣で 定例作業日： 12日 18日 26日</p> <p>【2月】 定例作業日： 3日 9日 15日 23日</p> <p>【3月】 14日(仮) たましん保全活動 22日 篠刈り探鳥会 定例作業日： 2日 8日 21日 23日</p> <p>【各月不定期】 花チェック</p>	<p>今年もよろしく</p>  <p>お願いいたします</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【編集後記】
今年の夏以来不順な気象が続きました。作業日が雨に見舞われ、そのため、山の手入れも計画に対して遅れがちに陥っています。また、恒例のお月見も取り止めざるを得ませんでした。植樹したロウバイが早くも咲き始めました。去年よりも一か月早い開花です。これも温暖化の影響なのでしょうか。それでも自然の営みは、何事もないかのように進んでいきます。